

まのあたりに見る

2012年7月7日

第一世紀のイエシュア（イエス）に従う人々は新約聖書の写本を持っていませんでした。それは、その時書かれている最中であつたからです。彼らが持っていた聖書は「タナッハ」、ヘブライ語の旧約聖書でした。それゆえ、新約聖書に記録されているようにイエシュアとその弟子らの教えは「タナッハ」の文書からの引用と参照がたくさんあります。

終わりの時の教えは特にヘブライ預言者らからの引用で満ちています。もしヘブライ預言者らの文脈が無視されるのならば、終わりの時に関する新約聖書の教えは恐らく間違つて解釈されるでしょう。

黙示録 1:7 - 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。

雲に乗って再臨される事については**ダニエル 7:13** からの参照です。メシアが刺し通されることは**ゼカリヤ 12:10** からの参照です。氏族の嘆きは**ゼカリヤ 12:12** からの参照です。黙示録のこの箇所、ヨハネは単にイスラエルの氏族の嘆きだけでなく、地上すべての氏族へと拡大しました。彼は旧約聖書に述べられている預言を普遍化させました。彼は預言に別の側面を加えたのであつて、それから離れた訳ではありません。

主を見るすべての目について述べている箇所はヘブライ預言者一人からの文の参照です。

イザヤ 52:8-9 - 聞け。あなたの見張り人たちが、声を張り上げ、共に喜び歌っている。彼らは、主がシオンに帰られるのを、まのあたりに見るからだ。エルサレムの廃墟よ。共に大声をあげて喜び歌え。主がその民を慰め、エルサレムを贖われたから。

もし誰かがヨハネがイザヤ書から引用したことを見ないならば、イエシュアがどのように再臨され、どういう理由で再臨されるのか誤解するでしょう。主の再臨は目で見えるものであり、文字通りのものになるでしょう。すべての目は主を見るでしょう。主は雲の中で浮かんだままではありませぬ。主はエルサレムに戻られ、破壊されたものを回復されるのです。

プレスナー報告書

1952年、ダヴィド・ベングリオンは新しい国家において世俗と宗教的ユダヤ人との間に橋渡しを行うために、有力なラビ・カレリッツ（ハゾン・イシュとして知られている）と会いました。ハゾン・イシュはタルムードからのたとえ話をしました。もし二つの荷車、一台は空でもう一台はいっぱい積まれているものが細い橋の上ですれ違う場合、空の方は後ろに戻っていっぱい積まれた方を先に通させ

なければならないというものでした。それが意味するものは、世俗の国家は、宗教的ユダヤ人の要求に従わなければならないというものです。その会合を受けて、ベングリオンは 400 数名のユダヤ教神学校の学生に対して兵役を免除することに同意しました。「トーラーの学びは彼らの職業である」からです。

年を追うごとに、ユダヤ教神学校の学生が兵役を免除される事が、イスラエルにおいて最も激しい論争へと拡大していきました。その免除の数が数千へと毎年増えて行きました。イスラエルに対する継続する安全保障への脅威のため、イスラエル主流派には二重の負荷がかかっています。一つは 18 歳全員に対する義務としての兵役と、もう一つは防衛費をまかなうための膨大な税率です。超正統派ユダヤ人が軍隊への従軍拒否をしていることと、税の支払いを拒否していることはその他の市民たちへの重荷となり、それは事実上負いきれないものとなっています。

問題は人口動態によってさらに悪化しています。宗教的ユダヤ人とイスラム教アラブ人（両方とも兵役はなくだいたいにおいて納税しない）イスラエル主流派の平均よりもはるかに出生率が高いのです。現在のイスラエルの小学1年生の子どもたちは、主流派である世俗派と現代的な宗教的ユダヤ人（兵役と納税を負う）はおよそ 75,000 名、イスラム教アラブ人はおよそ 40,000 名、そして超正統派ユダヤ人はおよそ 25,000 名です。12 年後にこのグループは兵役年齢に達します。

政府はこの問題に対する解決方法を調査するために、カディマ党の国会議員であるヨハナン・プレスナー氏の元、委員会を設置しました。この報告書の発表と共に、またこの問題は解決不可能と思われるゆえに、新たに世俗と宗教的共同体との間に緊張が高まり、そして政府の連携を取り壊そうと脅しています。

どうかネタニヤフ首相に知恵が与えられるようお祈り下さい。必要なことは長期に渡る段階的な超正統派共同体に対する再教育で、それは国の市民サービスを行うことと納税する労働人口へ加わることです。

ケニア人クリスチャン殺害される

コンバス・ディレクト・ニュースは、ケニアで銃と手榴弾を持った者が礼拝中の二つの教会で最低でも 17 人を殺害し 75 人以上を負傷させました。ある者は教会の建物から逃げる際に撃たれました。

両方の襲撃はソマリアとの国境から約 120 マイル西(193 キロ)にある、州都ガリッサで起こりました。すぐにこの襲撃はソマリアをベースとした武装イスラムグループであり、アルカイダとつながりのあるシャバーブに疑いがかけられました。

今週、イスラエル人権活動家グループが、イスラエル国境警備隊がパレスチナ人の少年の尻を

蹴っているのを撮影しました。それは非難すべき行為でしたが、大ケガとはなりませんでした。意外にも、あるいは意外ではないかもしれませんが、このお尻を蹴った動画は、ケニア人クリスチャンの殺害よりも国際的に報道されました。

エラヴ会議

年次全国イスラエル人青年会議であるエラヴは、リックとパティ・ライディングス指導のスカット・ハレル主催で今週末から始まります。どうか賛美チーム、説教者、そして運営メンバーのために、そして参加するすべての若者が霊的な突破口がありますようお祈り下さい。

アーニヤの 50 周年

1962 年、最初のクリスチャン・シオニストのグループがイスラエルでボランティアを開始しました。2012 年である今年には彼らの奉仕の 50 周年を記念します。彼らの中でアーニヤという親愛なるフィンランド人クリスチャンがおり、彼女はヤッド・ハシュモナにあるメシアニックジュー共同体の創作者の一人です。アーニヤは現在 80 歳で、今でも毎朝外に出て様々な肉体労働をし、私たちの賛美と祈りのセッションに参加するのを好んでいます。彼女は 4 フィート(122 センチ)よりも身長が低いのですが、アーニヤは信仰においては巨人です。私たちは確かに彼女に敬意を表します。